

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： CyborgCrowd：柔軟でスケーラブルな人と機械の知力集約
2. 研究代表者名及び主たる研究参加者名（研究機関名・職名は研究参加期間終了時点）

研究代表者

森嶋 厚行（筑波大学図書館情報メディア系 教授）

主たる共同研究者

井ノ口 宗成（富山大学都市デザイン学部 准教授）

田島 敬史（京都大学大学院情報学研究科 教授）

3. 事後評価結果

○評点：

A 優れている

○総合評価コメント：

本研究は研究領域がめざす「人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築」をクラウドソーシングの分野で実現した。自然災害時の迅速な状況把握を含む、緊急で大規模な労働集約を可能にすることを目標として、人間とAIがバランス良く共同作業を分担するための自動的なタスク割り当てと、共同作業中でも動的にタスク全体の最適化を行う新しいクラウドソーシングの方法（サイボーグクラウド）を開発した。従来手法がタスク割り当ての際に、金銭的成本と結果の品質のみに着目していたのに対して、これだけでなく、ELSI（倫理的・法的・社会的課題）に配慮して、人間が感じるストレスを軽減する、得意タスクを優先する、スキル向上もねらう、等の視点を取り入れたタスク自動割り当てと最適化を実現した点も優れている。具体的に、新潟県燕市、愛媛県およびインドネシア・バンダアチェ市との国内外での大規模な防災訓練等を通じて、その方法の効果を実証した。80件を超える海外論文、国際会議発表、27件の受賞等、学術的にも優れた成果を上げた。一般社団法人の設立、京都府立図書館において新システムに採用される等、研究成果の社会還元にも寄与した。